



障がい者千人雇用 事業所の賛同で 歩を進める

市が推進する障がい者千人雇用に賛同し、事業を決断した事業所があるなど、障がいがある人が働くことのできる施設の開所や就労の機会を約束するなど障がい者雇用の動きが少しずつ歩を進めています。皆さんも機会があれば、ガソリンスタンドやお弁当のお店を利用してください。それが障がい者雇用の応援になります。

問い合わせ 福祉課障がい福祉係 (☎8269)



障がい者雇用を推進するための協定を締結 倉敷平成病院での就労 就労先の事業所を増やす

障がい者雇用を連携して進めるため、社会医療法人全仁会倉敷平成病院と市は10月31日、「障がい者雇用推進に関する協定」を締結しました。

協定は、同病院が市内在住の障がい者を雇用することや、その場合の勤務状況や課題を市に情報提供する内容。就労先の開拓にとどまらず、介護・医療分野への就労の可能性を連携して検証することになります。

調印式は市役所で行われ、同病院の高尾聡一郎副理事長と市長が協定書に押印。高尾副理事長は「高齢者への介護サービスを担当する仕事を考えています。総社市との絆



協定書に押印する高尾聡一郎副理事長(左)と市長

を強くし、共に歩みたい」と話しました。同病院では、ハローワークを通じて求人を行います。就労先となる事業所と市の協定締結は、これが初めてです。



ガソリンスタンドの形態では県内初のB型事業所 給油や洗車、窓ふき、車内清掃などを行う



社会福祉法人三種の園(倉敷市)は10月26日、障がい者の作業の場となるガソリンスタンド「サンガーデン吉備路」を三須地内に開業しました。



給油や窓拭きをする障がいがある人。あわてず落ち着いて作業をこなし、「ありがとうございました」とお客様の車を見送っていた(写真左)。サンガーデン吉備路の外観(写真右)。サンガーデン吉備路への問い合わせは、☎94-4700

側で国道429号沿いに位置し、毎日、午前7時から午後9時まで営業。2交代のシフト制で当面、20歳代から50歳代までの身体・知的障がい者7人が就労し、スタッフ3人とともに、給油や洗車、窓ふき、車内清掃などの業務を行います。

サンガーデン吉備路は就労継続支援B型事業所で、ガソリンスタンドの形態で開業するのは県内では初めて。雇用契約は結ばず、利用者が比較的に自由に働ける福祉施設です。

この施設を担当する同法人の坂本英明さんは、「このガソリンスタンドのことをよく知っていただけ、利用してほしい」と話しました。



市内初の就労継続支援A型事業所がオープン お弁当の調理や販売 総社産の米や野菜を使い地産地消

雇用契約を結び、賃金を受けとれる就労継続支援A型事業所として11月1日、NPO法人土田の里(岡山市中区)は総社一丁目にお弁当店「憩いの店芳純」をオープンさせました。

A型事業所の開設は市内では初めて。身体・知的・精神障がい者8人とスタッフ2人で、お昼のお弁当を製造販売。8人は、調理や盛り付け、配達などを行います。

総社産の米や野菜などを積極的に使い、日替わりの幕の内弁当を、1日60食以上調理。1個400円で、主に市役所周辺で正午ごろ出張販売をします。

同法人の藤田佳伸理事



お弁当のおかずを調理をする芳純の社員(写真左)。芳純の外観(写真右)。芳純への問い合わせは、☎31-7736(午前10時から午後3時まで)



長は、「ここを利用する社員(利用者)の通勤の便の良さから、総社を選んだ」と。また、この日の開所式で、社員の代表が「真心を込めて一生懸命作ります。食べてください」と話しました。